

PCR検査検体の不適切な保管事案について

令和3年7月19日
郡山市保健福祉部
保健所保健・感染症課
担当：荘原 文彰
TEL：924-2163

PCR検査にあたり、以下のとおり不適切な検体の保管事案が発生しましたので経過等をお知らせします。

1 発生日時

令和3年7月17日(土) 午後

2 発生場所

本市保健所

3 対象検体

7月17日(土)に陽性が判明した患者の接触者15名分の検体

4 経緯

7月17日に採取した接触者15名分の検体を医療機関から業者が回収し、当該業者から保健所職員が、複数の検体格納ボトルが入った保冷バッグを受領した。

保健所職員は、ボトルの中身を確認せず、空のボトルを検体が入っているものと誤認し、保冷バッグから取り出し冷蔵庫に保管した。業者は未使用のボトルを持ち帰ることとされており、実際は検体の入ったボトルを保健所職員が業者に引き渡した。

ボトルは業者の事業所で常温で保管され、翌18日(日)朝にボトルの取り違えが判明した。

検体は摂氏4℃で保管することが国において推奨されていることから、18日に再度検体を採取し、検査を実施した(15検体については18日のうちに結果陰性判明)。

5 再発防止策について

- ・検体受領に係る作業手順のフローチャートを作成し、係員全員で共有する。
- ・検体回収業者から検体格納ボトルの入った保冷バッグを受け取る際は、必ず複数名で実施する。